

エリアウェーブ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL0553-20-2731
FAX0553-20-2733

◎ 回覧をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

◎ ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。 E-mail: hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp

子育ては、親育てから

講師 小林是綱先生

(岩手県立図書館総括責任)

7月1日(金)に山梨市民会館において、第1回峡東地域子育て講演会を実施しました。岩手県立図書館総括責任者である小林是綱先生から「子育ては、親育てから」というテーマでご講演をいただき、127名の参加者が、小林先生の話術と知識の世界に引き込まれました。



教育の原点とは、「生き方を伝えるということ」「大人になることを伝えるということ」です。

どんな家庭でも子どもは育ちます。両親がいる家庭、片親の家庭でも、親の愛情さえあれば立派に育ちます。子どもにとって、お父さんはお父さん、お母さんはお母さん一人しかいません。子どもにしっかり愛情を注いであげてください。そして、たくさんの体験をさせましょう。それは、どこかに連れて行って何かを体験させるという意味ではありません。

例えば、笑顔の美しさを知っている人は、人の笑顔に感動したことがある人です。人に思いやりができる人は、思いやりを受けたことのある人です。このような優しさや思いやりの体験が、親(大人)になったとき子どもや人に、これらを与えることができます。言い換えれば、こういった経験をせずに親(大人)になった場合、子どもや人に、これらを与えることができないということです。

最近、親らしく振る舞っていない大人たちが多いと思います。子どもを指導する必要なんて全くありません。自分たちのやっていることをしっかりと子どもたちに伝えるということが原点だと思います。完全の人間でなければ人を教えるはいけないか、そんなことは絶対にありません。100%自分が完璧な人間になってから教えようなんて考えているから間に合わないのです。世間様や、ご先祖様がみて、私を支えてくれている、という確信のもとで、不完全でもいいから子どもに伝えていくことが大切です。

躰とは仕付けのことです。和服には、洋服にない仕付けがあります。作り手(親)が、しっかりと折り目正しくしたてて、仕付け糸を通す。仕付けられた和服は、糸のまま畳まれて相手(社会)に届けられます。和服は言うまでもなく子どもです。仕付けは和服文化の日本ならではの言葉であり、生きる力の基本です。

「偏らず・拘らず・捉われず」＝「ほどほどに・こうあらねばならず・先入観を遠ざける」です。仕立屋さんは布地によって幅や長さを替え、ゆとりをもたせながら着物を仕付けるそうです。まさに、子どもの躰も同じです。隣の子がいい子だからといって、隣の家庭の躰を真似しても、いい子になるわけがありません。自分の子どものことは自分が一番知っているはずで、その子にあった躰をしてあげることが大切です。

家庭での役割をもちましょう。祖父母の役割は先祖を敬うこと、父の役割は一家を支えること、母の役割は家を守ること、子どもの役割は家の仕事を手伝うことです。今、子どもの役割が欠けていると思います。

「いいよ。やらなくて。あなたがやってもきれいにならないから」「いいよ。やらなくて、勉強してなさい」なんて言っているはいけません。子どもにだってできる手伝いがあります。小学校1年生は玄関の掃除を、小学校2年生になったらトイレ掃除をさせるとよいでしょう。トイレは汚いものと思いがちですが、それをきれいにすることで子どもたちは達成感を味わうはずで、やがて、祖父母は仏さまとなり、父母は祖父母に、子どもは親になります。家庭での役割はサイクルになっているのです。

幸福学を教えましょう。今ここにいることが幸せだという人間を育てること。教育とは教え育てることではなく、育むことです。学ぶとは真似ること。学ぶ人たちが（真似る人たち）を羽で育むことが教育の原点です。「青色青光 白色白光」仏教用語です。「青き色には青き光 白き色には白き光あり」ということです。私たち一人ひとりが、それぞれの色をもち、光輝いていることを語っています。子どもも同じです。その子

の個性をしっかりと認識しながら伸ばしていくことが大切です。

「人に上下無し、心に高低有り」

私たちは、身分に上下はありません。みんな平等です。心の高低とは、気高い人、低い人と言う意味です。よいと悪い、美しいと醜いなどものの考え方に差が生まれます。 (原文のまま)

小林先生が講演を始める前にいくつか詩を朗読してくださいました。高田敏子さんが作られた詩ですが、今から40年ほど前に作られたものです。

詩集には、子どもを思う親の詩や親に感謝する子どもの詩がたくさんあるそうです。中でも心に残ったのが「ポケット」という詩でした。夜なべをしながら、子どもの服のポケットや靴下のほころびを繕いながら、母親が思う詩です。

子どもの心、もしかしてほころびているかもしれない。母親として、胸が熱くなるものがありました。「それを繕うのも親の仕事、こんなお母さんの姿が今あるのでしょうか。もし、あるとすれば、子どもたちはきっと健やかに育っていくに違いありません。」と穏やかな口調で語られた先生の言葉がさらに胸に響きました。

子どもの心のポケットには
何が入っているんだろう
言いかけて口をつぐんでしまったことは
幾重にも小さくたたんだテスト用紙
大人への不信や悲しみが
もしや小さくたたまれて
入っているのではないだろうか
見えない心のポケットも
つくろってやらなければ (一部抜粋)

★塩山南・西児童クラブの紹介★

今年3月、甲州市の定例議会において甲州市放課後児童健全育成条例の一部が改正され、休診中の塩山診療所の施設の一部を活用し、塩山西児童クラブを設置するための条例が制定されました。これは国が進めている児童数の適正規模化を図ったものです。塩山南小学区の児童クラブの登録者(1~4年)が、年々増えていることなどから、6月24日(木)に、塩山西児童クラブが開館しました。住んでいる地区で登録者を分けたので、塩山南児童クラブには47人、塩山西児童クラブには27人の児童が登録しています。子どもたちにとっては、同じ学校に通いながら、別々の児童クラブに通うのは、少し寂しいかもしれませんが、南と西の児童クラブでの交流も考えているそうです。

塩山南児童クラブの指導員さんは「4月に入所した1年生も、すっかり生活のリズムが定着し、毎日自分らしさを出しのびのびと好きな遊びを楽しんでいます。また、プレイルームでの遊びは、自然と異学年で遊べるようになり、指導員もさらに目配り気配りを重視するようになりました。」と話してくれました。児童たちは放課後や土曜日、宿題や読書、一輪車やトランポリン、球技、ブロックなどをして友達と楽しく過ごしています。

毎月発行しているたよりには、月の予定、児童たちの様子が細やかに掲載されていました。7月は、七夕用に折り紙で彦星や織り姫などを作り、飾り付けをしました。笹は指導員さんが持ってきてくれたそうです。この日は、七夕飾りの前で写真撮影をした後、七夕由来



塩山南児童クラブの
七夕飾り



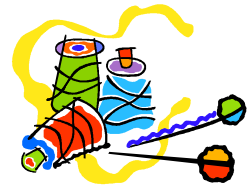
塩山西児童クラブ

の紙芝居を指導員さんに読んでもらっていました。みんな、真剣に聞いていました。

今月塩山南児童クラブでは、防犯教室、出前栄養相談、観劇鑑賞や紙すきなどが予定されています。

昼間留守になる家庭にとって、児童クラブの存在はとてもありがたく、安心して子どもを預け、仕事に出かけられると思いました。

小学生の支援に ことぶき勸学院生



「先生ー」と子どもの声が教室に響きました。ことぶき勸学院の家庭科支援員さんと呼ぶ子どもの声です。

春日居小学校・山梨小学校では、初めて裁縫の授業を受ける5年生の指導支援をことぶき勸学院の学生さんに依頼しています。

この日は、春日居小学校の5年1組の裁縫の授業に4人の東八代学園の学生さんが支援員として参加しました。子どもたちは今日の活動の「かがり縫い」の縫い方を学び、先生や支援員さんの助言を受けながら真剣な表情で取り組んでいました。校長先生は「支援員さん方のおかげで、糸や針を手にして間もない子どもたちに目や手が行き届き、集中して取り組める。このような支援はこれから増えると思う。」と話してくれました。子どもたちからは「わからないところを親切に教えてくれた。」「教えてもらったことを忘れないでいたい。」という感想がありました。また、支援員さんも「自分たちの得意分野を生かしながら、子どもとの交流ができて楽しい。」と話してくれました。

このような地域の方々との連携活動がさらに充実し、子どもたちの生活や成長をいつも見守ることができる地域社会になることが望ましいと感じました。

☆ 山梨小学校5年生の家庭科【裁縫（手縫い）】・・・東山梨学園の学生さん

☆ 春日居小学校5・6年生の家庭科【裁縫（手縫い・ミシン）・調理実習】・・・東八代学園の学生さん



春日居小の児童と東八代学園の学生さん



山梨小の児童と東山梨学園の学生さん

お知らせ

峡東地区 保幼小中連携のための講演会

関係を生かした連携を求めて ～保幼・小・中のなめらかな接続のために～

講師

文珠 紀久野 氏

山梨県立大学 看護学部 教授

1. 日時

平成22年8月20日(金)

受付 午後 2時00分～

開会 午後 2時30分

閉会 午後 4時30分

2. 場所

甲州市民文化会館 2F

住所 甲州市塩山上塩後 240 番地 TEL 0553-32-1411

3. 申し込み方法

8月13日(金)までに、峡東地域各保幼・小・中・県立学校、または峡東教育事務所まで、お申し込みください。メールでも結構です。不明な点は、下記担当まで お問い合わせください。当日の参加も可能です。

4. 主催

峡東地域教育推進連絡協議会 甲州市教育委員会 峡東教育事務所

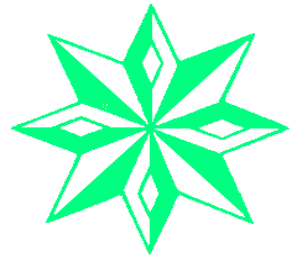
◆問い合わせ先

峡東地域教育推進連絡協議会事務局(峡東教育事務所内) 石原義人 田之口晃士 平山昌実
〒404-0045 甲州市塩山上塩後 1239-1 TEL 0553-20-2731 FAX 0553-20-2733
e-mail tanoguchi-ayyn@pref.yamanashi.lg.jp



日川高等学校

全国での活躍を誓う



7月28日から沖縄県で開催されるインターハイに出場する選手は、山梨の代表として、力の限り戦ってきます。



栄光を掴んだ選手達



日高健児の意気高し

男子バスケットボール部
体操部 以上団体
個人としてウエイトリフティング5人、柔道4人、
女子ソフトテニス4人が、インターハイに出場します。



文化部も頑張ってます。

8月1日～5日宮崎県で開催される全国総文祭に

美術部・書道部

新聞部・放送部

が参加します。

また、放送部は、7月22日から東京都で行われるNHK杯全国高校放送コンテストでも活躍が期待されています。

めざせ！甲子園

7月10日開幕の夏の高校野球に本校野球部が、第1シードとして11日に初戦を迎えます。30年ぶりの甲子園に出場できるよう応援をお願いします。